

2017年度 第2回東京都細胞検査士会 役員会議事録 (案)

日時：2018年2月17日(土) 11:00 ~ 13:00

場所：昭和大学病院 中央棟 7階 研修室

出席者：阿部・池畑・和泉・稲垣・梅澤・金室・河村・岸本・郡・小松・笹井・佐々木・澁木・庄野
鈴木・瀬田・宅見・長尾・中島(研)・葉山・藤山・町田・松原・三宅・向山・藪下・吉田
・若槻・畠山 (敬称略、あいうえお順) 委任状9通

議事録：庄野、鈴木(庶務)

議長選出：笹井氏が推薦され、拍手により承認された。

会則により2/3以上の出席により平成29年度第2回東京都細胞検査士会役員会は成立。

議題

1. 会長報告

日本臨床細胞学会報告

1) 学会予定

- ・第59回日本臨床細胞学会総会・春期大会

学会長：齋藤 豪

2018年6月1日(金) ~ 3日(日)

会場：北海道(札幌)

ニトリ文化ホール・ホテルさっぽろ芸文館・ロイトン札幌

事前登録期間は、2018年2月1日(木) 14:00 から 2018年4月27日(金) 14:00 まで。

参加登録費

カテゴリー	事前	当日	必要な提出物
一般	13,000円	15,000円	会員の方：会員番号
学生*1	無料	無料	学生証
懇親会：6月2日(土)*2	3,500円	4,500円	

- ・第57回日本臨床細胞学会秋期大会

学会長：中村 直哉

2018年11月17日(土) ~ 18日(日)

会場：パシフィコ横浜(神奈川県)

- ・第60回日本臨床細胞学会総会・春期大会
 学会長：竹島 信宏
 2019年6月7日（金）～9日（日）
 会場：東京都
- ・第58回日本臨床細胞学会秋期大会
 学会長：森谷 卓也
 2019年11月16日（土）～17日（日）
 会場：岡山県
- ・第61回日本臨床細胞学会総会・春期大会
 学会長：佐藤 之俊
 2020年6月5日（金）～7日（日）
 会場：神奈川県

2) 庶務委員会(2017年5月15日現在)

全会員数：12,310名（正会員5,561名、準会員6,529名）
 細胞検査士数：7,496名（実数）（認定9,560名）
 CT（IAC）：4,809名 細胞検査士の正会員の割合は14%。
 細胞診専門医数：2,882名（認定3,459名）

3) 細胞検査士委員会

2018年度（第51回）細胞検査士資格認定試験

1次試験：2018年10月27日（土）大阪のみで東京では行わないため注意して頂きたい。
 2次試験：2018年12月8日（土）・9日（日）東京

細胞検査士会の報告

1) 細胞検査士セミナー・ワークショップのお知らせ

・第1回・第2回 細胞検査士会ワークショップ

『子宮頸部腺系病変の臨床、病理、細胞診と各種液体処理標本(Liquid-based preparation)の細胞診』

第1回 2018年2月24日（土）大阪医科大学

第2回 2018年2月25日（日）大阪医科大学

- ・第127回細胞検査士養成講習会 2018年7月2日（月）～14日（土）
 会場：東京医学技術専門学院（実施委員長：伊藤 仁）
- ・第75回細胞検査士教育セミナー 2018年8月25日（土）・26日（日）
 会場：パシフィコ横浜 メインホール（実施委員長：加藤 拓）
- ・第76回細胞検査士教育セミナー 2018年9月8日（土）・9日（日）
 会場：アクロス福岡 イベントホール（実施委員長：阿部英二）

2) 細胞検査士 50 周年記念事業の報告

記念式典 2017 年 11 月 19 日 (日) 福岡国際会議場

記念祝賀会 2017 年 11 月 19 日 (日) 福岡サンパレス パレスルーム

東京都臨床細胞学会の報告

1) 会員数 (2017 年 4 月現在)

名誉会員 21 名, 功労会員 15 名,

医師会員 462 名, 細胞検査士会員 1,041 名

2) 第 37 回東京都臨床細胞学会総会・学術集会

2018 年 7 月 8 日 (日曜日)

会長: 小松 京子先生 (がん研有明病院)

会場: 東京医科大学病院 臨床講堂

2. 平成 29 年度各委員会・中間事業報告

学術委員会中間事業報告

1) 第 49 回東京都細胞検査士会学術研修会

開催日: 2017 年 6 月 24 日 (土) 13:55~17:30

会場: 東京慈恵会医科大学

研修会内容:

- ・教育講演 I 「尿路系の細胞診—泌尿器細胞診報告様式 2015 を中心に—」
がん・感染症センター都立駒込病院 浅見 英一
- ・教育講演 II 「当院における子宮体内膜細胞診の標本作製および判定基準」
こころとからだの元氣プラザ 窪田 真弓
- ・症例検討 4 題

参加人数: 一般会員 246 名

学 生 27 名

2) 第 50 回東京都細胞検査士会学術研修会

開催日: 2018 年 2 月 17 日 (土) 13:55~17:30

会場: 昭和大学病院

研修会内容:

- ・特別講演「細胞診の精度を高めるために」

平成 30 年度東京都臨床細胞学会 会長

がん研究会有明病院 小松 京子

- ・教育講演「乳癌組織型分類について」

日本大学医学部 増田 しのぶ

- ・症例検討 3題

参加人数：一般会員 236名

広報委員会 中間事業報告

- ① ホームページ (HP) 管理の充実

2017 LOVE49 キャンペーン活動内容、学会・研修会の案内、総会・役員会の議事録、症例検討の解説などを掲載した。

- ② 子宮の日の活動

2017年4月15日(土)に「子宮の日の活動 2017 LOVE 49 キャンペーン」として子宮頸がん検診の啓発につながる資料の配布を行った。大丸松坂屋上野店と中野駅北口協定広場の2カ所で、主に子宮頸がん検診対象者に手配りで配布した。街頭活動に参加した人数は43名。また、残りの資料は各施設およびイベントにて配布。詳細は別紙の活動報告・会計報告参照

- ③ がん患者大集会への協力

第13回がん患者大集会に12名が参加した。詳細は別紙の活動報告参照。

- ④ 第49回東京都細胞検査士会学術研修会でのアンケート調査の実施

詳細はアンケート結果参照

- ⑤ 広報幹事会の開催

詳細は議事録参照。

国際委員会 中間事業報告

1. 情報交換会：次の学会で関係者と情報を交換した。

- 1) 第58回 細胞学会(春)

国際発表展示場で韓国のHaさんと他1名、タイからの発表者と情報を交換した。

- 2) 2017の9月に釜山で開催されるAAMLSについて情報をいただいた。

また、AAMLS学会案内状他を日本他の方へ配布した。

2. 国際学会他：第9回日・台・韓 細胞診セミナーの現況

- 1) 日・台・韓 細胞検査士合同セミナープログラム

2018年2月24日(土)熊本(パレアホール)で開催。

東京都からも参加予定

次回は韓国開催(開催地は未定)の予定である。

- 2) 国際細胞学会

2019年はオーストラリアの開催予定

総務委員会 中間事業報告

- 1) 東京都細胞検査士会会則の見直し案の検討
- 2) 全国細胞検査士会役員選挙被選挙人の選出方法について
立候補中心に行い、予定人数を超えた場合は会への貢献などを考慮し選考を行う。

庶務委員会 中間事業報告

- 1) 新役員委嘱状発行・送付
- 2) 2017年度役員会議事録作成（第1回）
- 3) 2017年度総会議事録作成（第1回）
- 4) 役員会・総会開催運営（第1回）
- 5) 第49回・第50回学術研修会 演者・座長委嘱状の発送・学会申請

審議事項

1. 2018年度各委員会・事業計画案

学術委員会事業計画 案

- 1) 第51回東京都細胞検査士会学術研修会
開催日：未定（2018年5月中旬～6月の土曜日午後を予定）
会場：未定（候補；東海大学高輪 キャンパス，文京学院大学本郷 キャンパス）
内容：子宮内膜細胞診に関する講演2題
・子宮内膜細胞診について（仮題）
・LBC検体における子宮内膜細胞診について（仮題）
症例検討4題
- 2) 第52回東京都細胞検査士会学術研修会
開催日：未定（2019年2月前後の土曜日午後を予定）
会場：未定
内容：次年度（2019年度）東京都臨床細胞学会会長講演
講演
症例検討
- 3) 細胞検査士会主催講習会 等への協力

広報事業計画 案

- 1) 広報幹事会の開催（2回）
- 2) ホームページ（HP）管理と内容の充実
- 3) 子宮の日の活動 2018年4月7日（土）に予定：上野松坂屋、中野駅前広場は確認済
- 4) がん患者大集会への協力
- 5) 研修会（第51回）でのアンケート調査実施

国際委員会事業計画 案

- 1) 第 10 回日・台・韓 細胞診セミナーへの協力
2019 年は韓国での開催予定
- 2) 細胞学会国際事業への参画
情報交換会他：第 59 回 細胞学会総会（北海道）
第 57 回 細胞学会秋期大会（神奈川）
第 10 回 日・台・韓細胞診セミナー（開催地）
- 3) 細胞検査士関係の国際交流に関する情報発信

総務委員会事業計画 案

- 1) 東京都細胞検査士会会則の見直し案の検討
- 2) 東京都細胞検査士会新年度役員選出方法 選挙管理委員会の設立検討
選考などでご意見がある方はメールで、なければ通常の選考方法で行う。

庶務事業計画 案

- 1) 2018 年度役員会議事録作成（第 1 回・第 2 回）
- 2) 2018 年度総会議事録作成（第 1 回・第 2 回）
- 3) 役員会・総会開催運営（第 1 回・第 2 回）
- 4) 第 51 回・第 52 回学術研修会 演者・座長委嘱状の発送・学会単位申請

2. 元号を西暦に統一する件について

西暦に統一した場合、現行使用の書類の表記も変更する必要がある。

本日の総会で西暦への変更の承認を得た後、現会則内の元号を西暦に変更し、再度総会で承認を得る。

上記審議事項、1. 2は拍手を持って承認された。

3. 第 51 回・第 52 回 東京都細胞検査士会学術研修会について

実施委員長：阿部 仁

・阿部実施委員長の勤務先が 4 月から千葉県になるが、今後も東京都細胞検査士会へ所属する事、千葉県で役員を重複しないことで実施委員長を継続することが承認された。

第 51 回の第一候補日は、6 月 16 日（土）第 2 候補日は、6 月 30 日（土）の予定。

第 51 回の開場予定の帝京大学は会場費が 23 万円と高額であるが、第 52 回の会場費を抑えることで開催を承認して頂きたい。

1) 第 51 回東京都細胞検査士会学術研修会

内容 子宮内膜細胞診に関する講演 2 題

- ・子宮内膜細胞診について（仮題）藤間病院 大塚
 - ・LBC 検体における子宮内膜細胞診について（仮題）女子医科大学 二村
- 症例検討 4 題：頸部、唾液腺、体腔液、口腔

症例検討提示者、座長がまだ決まっていない症例があるので、推薦したい方がいましたら阿部実施委員長までご連絡ください。

2) 第52回東京都細胞検査士会学術研修会

阿部さんから研修会での顕微鏡実習の検討について意見が出されたが、個人情報、顕微鏡等の問題も多い為、役員会での話し合いも含め慎重に考えることになった。

4. 2018年度予算案

- 2017年度の予算でOffice2016を計上していたが、Office365の方にメリットがあると考え2018年度予算案で計上Office365を計上する。
- 幹事会は年2回で計上している。
- その他の項目は2017年度と同様の予算計上。

東京都細胞検査士会 平成30年度(2018年) 予算(案)												
収入の部												
科目	収入											
研修会参加費	200,000	研修会参加費 第51回 200人、第52回 200人 (参加費500円で計上)										
東京都臨床細胞学会助成金	800,000											
子宮の日活動助成金含む												
前年度繰越金(土庫基金含む)	4,346,814	予定 (第50回決算未)										
利息	1,000											
合計	5,347,814											
支出の部												
科目	通信運搬費	旅費交通費	消耗品費	消耗什器備品	会費	贈謝金	支払い負担金	雑費	諸雑費	30年度予算額	29年度予算額	増減
本部経費		41,000			82,000			10,000		133,000	133,000	
学術委員会	5,000	50,000	50,000		300,000	160,000		10,000	5,000	580,000	590,000	-10,000
国際委員会			15,000	2,000	24,000			30,000		71,000	71,000	
広報委員会	40,000				80,000			62,388		182,388	256,805	-74,417
総務委員会		24,000	3,000							27,000	27,000	
庶務委員会	5,000	22,000	3,000							30,000	30,000	
東京都学術集金積立金							150,000			150,000	150,000	
合計		137,000			486,000			112,388	5,000	1,173,388	1,257,805	
予算案												
収入合計		5,347,814										
支出合計		1,173,388										
総合計(次年度繰越金)		4,174,426	東京都学術集金積立金60万円含む									

上記審議事項、3. 4. は拍手を持って承認された。

5. 広報委員会から

LOVE 子宮キャンペーンで協力していただいている NPO 法人「からだにいいこと」からイベント協力の依頼があった。

- 1) 後援として「東京都細胞検査士会」名称を掲載してよいか。
- 2) 体験イベントで一般の方に細胞標本を顕微鏡で見ってもらう。

1) ・後援として名称の掲載を行うことは、細胞検査士を広く知ってもらうことへのメリットがあ

る。

- ・後援する以上、何らかの寄付、活動協力をする必要が生じるのではないか。
- 2) ・標本の持ち出しやバーチャルスライドでの代用などを検討するには期間が短すぎる。
 - ・次年度から LOVE 子宮で配布するパンフレットについても資金不足により検討する事項がある中、継続的なイベントなのかの確認する必要がある。
 - 1) 2) について、代表幹事会・役員会にて再検討する事となった。

2月17日に行われました役員会において継続審議案件について

三宅会長より、「株式会社 からだにいいこと」から東京都細胞検査士会に、後援での名称使用許可と顕微鏡を使つての展示などを行つてほしい旨の依頼について3月の開催まで準備時間が短すぎる、継続的なイベントではない、顕微鏡で実際の標本を使用することなどの問題を考慮してお断りしたとの報告を受け審議を終了することを、2018年3月13日に全役員にメール報告した。